

第16回 KTSM 実技セミナー in 宮崎

開催報告

●開催概要

KTSM 実技セミナー 基本コース

経口摂取実現のためのベッドサイドスクリーニング評価と食事介助

安全で効果的な口腔ケア，ベッドサイドスクリーニング評価，食事介助の基本的事項について知識と技術を習得し，実践の質を高めることを目的とし，グループ毎にアドバイザーの配置で，演習を主体とした相互実習によるスキルアップを習得。

会期：平成27年8月1日（土） 13:00～17:00

会場：潤和会記念病院

参加者：48名（ほか見学者3名）

主催：口腔リハビリテーション研究会

共催：NPO法人 口から食べる幸せを守る会

後援：社会福祉法人 キャンパスの会

株式会社 明治

<担当講師およびアドバイザー>

敬称略

氏名	所属	職種（摂食嚥下に関する資格）
小山 珠美	NPO 法人 口から食べる幸せを守る会	看護師 （日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士）
竹市 美加	NPO 法人 口から食べる幸せを守る会	摂食・嚥下障害看護認定看護師
井野美穂子	熊本リハビリテーション病院	看護師
安部幸	大分大学病院	摂食・嚥下障害看護認定看護師
木本ちはる	湯布院病院	摂食・嚥下障害看護認定看護師
佐藤龍馬	豊後大分市民病院	摂食・嚥下障害看護認定看護師
下田加奈	熊本リハビリテーション病院	看護師
児玉秀樹	ナチュラルスマイル西宮北口歯科	歯科医師
清山美恵	潤和会記念病院	歯科医師 （日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士）

●関連講演会

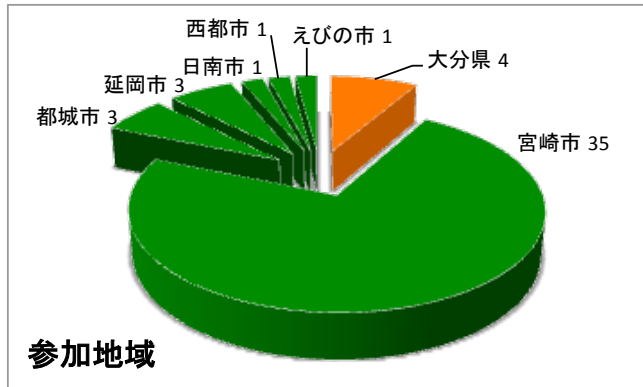
平成27年7月31日（金） 前田圭介先生 玉名地域保健医療センター 摂食嚥下栄養療法科

演題：誤嚥性肺炎と包括的多職種介入

参加者 100名

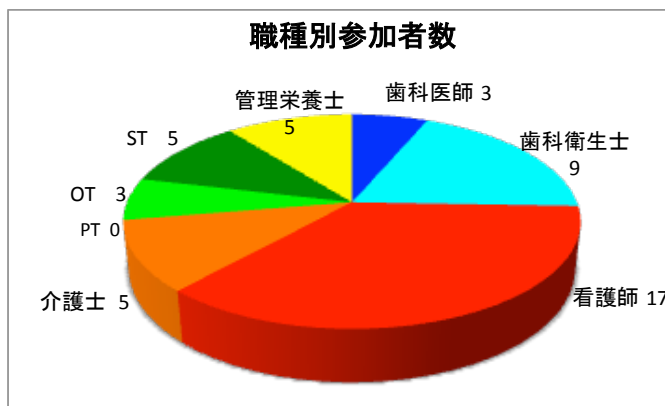
●セミナーでの詳細

<参加者の所属地域>



ほとんどが宮崎県からの参加者だった。
なかでも、宮崎市が圧倒的に多かったが、地方からの参加があったことは今後にも有効になると期待できる。
大分からの参加が1割近くあったのが嬉しい。

<参加者の所属地域>



看護師の参加が多かった。
臨床で実際に関わっている方は、普段の問題点にスポット当てて受講され、今現在は直接患者さんへの食介助などには携わっていない方も、今回の受講内容が非常に重要だということを知っていたの参加だった。
ほかの職種の方々は、食事介助には普段から関わる機会の多い方たちであった。

所属先については、病院、介護保険施設、開業歯科医院であった。

<受講者からの意見（感想）>

- ・宮崎で開催してもらってよかった（遠方にはなかなか出向けない）
- ・このような実技セミナーに参加できてよかった
- ・理論と実際がつながった気がした
- ・普段自分ができていないことに気づいた
- ・専門として動いていたのに、視点がずれていた
- ・きちんとしたポジショニングの方法が聞けて（試せて）よかった
- ・食事介助、姿勢など、ちょっとしたことで経口摂取が安定して安全にできることを知った
- ・実際に活かしていきたい
- ・現場ではなかなか食事介助に参加できていなかった
今後は積極的に参加して、今回の情報を活かしたい
- ・今対象にしている患者さんのタイプが違うが、新しい情報を得られてよかった
実際に活かせるときがきたら、活かしていきたい
- ・見ているとできると思っていたが、いざやろうとすると、手が動かなかった
- ・アツと言う間に時間が過ぎた
- ・もっと経験したい

<セミナー実技風景>

実技の前に、小山先生から講義を受けました。

なるほど…、と新たに認識することもたくさんありました！！



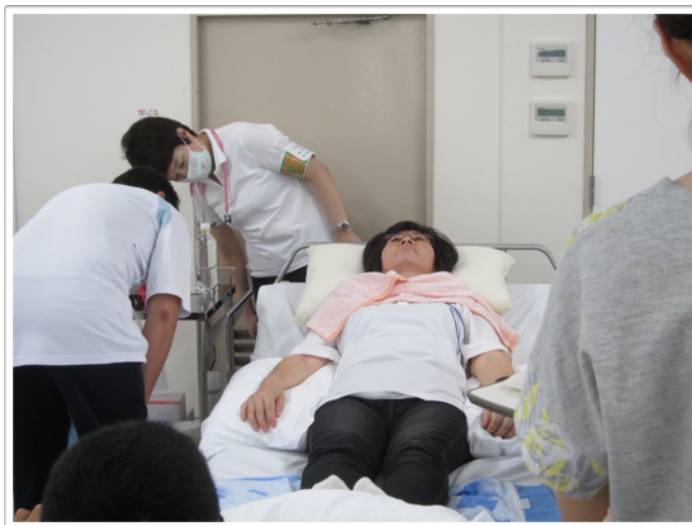
実際に、実技実習へ！！

グループに分かれての実習でした。



姿勢、ベッドの角度を確認しました。

口腔ケアの方法も、しっかり手を動かさせ、患者（役）さんの口の中をキレイできました！

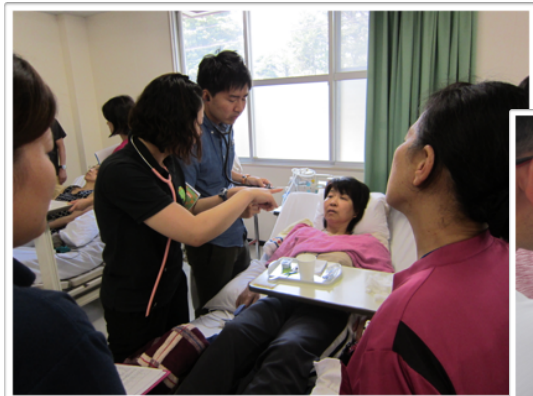


四肢の保持の仕方、身近にある道具を使った方法を学びました。

これまでは、適当にしていたことに気がきました…

体幹を安定させるために使用するタオルの折り方，タオルの入れ方，タオルの使用枚数など，しっかりやると，こんなに身体が安定することも理解できました！

次は，食事介助の仕方を学びました！！緊張しましたあ～



グループでの実習で習得した知識をもとに，その後，車椅子での食事介助方法を，皆で学びました。



できるようでなかなか出来ない，
「ああ，そうだった」「そうすればいいのかあ」などの声も多々聞かれました。

アッという間で，しかしとても充実した4時間でした！！

今回の実技セミナーを主催させてもらった研究会のメンバーで、開催準備はもちろん、実技セミナーにも参画した2人より♪

今回、初めて KISM の実技セミナーに参加させていただきました。臨床では食事介助を行うこともあり、また学生や新人、他職種に指導する立場としても、自身の考えや技術の確認と新しい技術を習得することが目的でした。実技セミナーを受けて感じたことは、新しい視点や技術を学べたことがもちろん貴重でしたが、今まで「わかってたつもり」のことが実践しきれていなかった、つまり「わかってなかった」ということに気付けたことも非常に大きいことでした。再度自身を見つめ直し、実践に取り入れています。患者様に合わせることは基本ですが、介助者が良い環境を設定し、リズムを作ってより食べれるよう促していくことも重要で、介助者、患者役を体験することでさらに実感できたと思います。KISM の理論とブレない軸があるので、安心して提供できる、伝達できる内容でした。

最後に、小山先生をはじめ遠方にもかかわらずお越しいただいたアドバイザーの先生方、熱意のあるセミナーをありがとうございました。また、企画、準備したスタッフ、手伝っていただいたボランティアの皆様感謝を申し上げます。

ST 外山慶一

KISM の実技セミナーを受けて、人が持つ力を最大限に生かせるようなアプローチをすることが大切であると改めて感じた。姿勢や認知面へのアプローチ方法、食事介助など工夫された点も伝授していただき、納得することが多く、すごくいい学びになった。自分自身のこれまでの経験を見直し、今回教えていただいたコツを実践に生かしていきたいと思う。また、実技セミナーの応用編も受けたいと思った。

摂食・嚥下障害看護認定看護師 濱砂昭子



Ns.濱砂 歯科医師 ST 外山
清山

今回、企画・運営をしました、研究会世話人です。とても勉強になりました♪



参加者全員で！ 本当に、充実したセミナーでした！！ ありがとうございました！！！！